

平成27年度 第2回市川市史編さん委員会

日 時:平成27年9月28日(月)
18時00分~20時00分
場 所:市川市役所 3階 第1委員会室

会議次第

- 議 題
1. 副委員長の互選
 2. 市川市史の「刊行計画」の見直しについて
 3. 市川市史のタイトルについて
- 報 告
1. 自然編の進捗状況について
 2. 市川市史の頒布方法について

連絡事項

閉 会

配布資料

- 資料 1 答申 (案)
- 資料 2 市川市史のタイトルについて

答申（案）

1. 諮問内容

現在編さん中の「市川市史」については、平成 27 年度から順次刊行を開始し、平成 32 年度に刊行を終える計画となっている。しかしながら、東京外郭環状道路（以下、外環道路）の建設にともなう市内遺跡の発掘調査により新たな歴史的事実が明らかとなりつつあることから、この成果を盛り込んだ市史とすることができるよう、刊行計画を見直すことについて諮問されたものである。

2. 審議の争点

「市川市史」歴史編のうち、発掘調査が進められている遺跡との関係性が深いのは第 1 巻『地形と環境』、第 2 巻『ムラとマチ』、第 3 巻『まつりごとの展開』である。外環道路建設にともなう発掘調査の成果は今後、徐々に明らかにされていくことが考えられるが、発掘調査成果を盛り込むためには、平成 27 年 9 月現在の段階での執筆は難しい状況にある。

このことをふまえ、外環道路建設にともなう発掘調査成果を盛り込む必要性がどの程度あるか。また、そのためには、現在の刊行計画を具体的にどのように見直す必要があるか。以上、2 点を中心に審議したものである。

3. 主な審議内容

- (1) 外環道路建設にともなう発掘調査成果を「市川市史」に盛り込むことについて
 - ・外環道路建設に係る発掘調査では予想以上の発見が相次いでおり、この成果を除いては市史を刊行する意味が薄れてしまう。刊行を多少遅らせることで発掘調査成果を盛り込むことができるのであれば、その価値があると考えられる。
外環道路工事の進捗状況を考えると、調査成果の公表時期もおおよその予想を立てることができることから、これに合わせて市史を刊行することが望ましい。
 - ・歴史編はテーマ別の構成としているが、主要なテーマである国府・国分寺に関する調査がかなり進んでおり、外環道路建設にともなう発掘においても未だ公表されていない資料が出ているようだ。新たな調査成果を盛り込むために刊行を延長することは止むを得ない。
 - ・外環建設に係る発掘調査のような大掛かりな発掘を行う機会はめったにあるものではないため、その成果は市史に活かすことが望ましい。
- (2) 「市川市史」第 4 巻、第 5 巻について
 - 現時点で第 1 巻から第 3 巻の刊行時期が不透明な状況にあり、刊行計画の後半に刊行時期が集中した場合、財政的にも業務的にも厳しくなることが予想される。このことから、第 4 巻、第 5 巻の刊行時期についても再検討した。
 - ・第 4 巻については、一年度前倒し、平成 30 年度に刊行することは可能であると判

断される

・第5巻については、現在までの調査等の進捗状況を踏まえると、前倒しは難しい状況であるため、現在の計画通り、平成31年度の刊行とする。

4. 答申内容

現在編さん中の「市川市史」には外環道路建設にともなう発掘調査成果を、可能な限り盛り込む必要があると考えられる。しかし、その成果がいつどのような形で公表されるか、現時点では明らかにされていない事柄が多いため、遺跡との関係性が深い1巻～3巻の刊行時期については、調査成果が明らかになった時点で改めて定めるものとする。

また、これにともない、第4巻『変貌する市川市域』の刊行を平成31年度から1年前倒し、平成30年度とする。

添付資料：「刊行計画」（修正案）

刊 行 計 画 (修正案)

○ 発行年

平成27.9

△ 調査報告書(資料集)等発行年

		75周年				80周年			85周年				
年度		2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 H32
歴史編	第1巻 「地形と環境」						△ (代)						
	第2巻 「ムラとマチ」								△ (中世・近代)				
	第3巻 「まつりごとの展開」			▲ 報告書 (古代)		▲ 報告書 (考古)	△ (代)						
	第4巻 「変貌する市川市域」										○ ← ---		
民俗編	第5巻 「民俗(仮称)」											○	
自然編	第6巻 「自然とその変遷」							○					
通史編	第7巻 「」												
写真図録「この街に生きる、暮らす」							●						
「市史研究いちかわ」		●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○

(参考資料)

刊 行 計 画

平成24. 5. 8 現在

○ 発行年
△ 調査報告書(資料集)等発行年

		75周年					80周年						
		2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 H32
歴史編	第1巻 「地形と環境」						△ 報告書 (考古)			○ 本編			
	第2巻 「ムラとマチ」								△ 報告書 (中近世)		○ 本編		
	第3巻 「まつりごとの展開」			▲ 報告書 (古代)		▲ 報告書 (考古)	△ 報告書 (古代)		○ 本編				
	第4巻 「変貌する市川市域」											○ 本編	
民俗編	第5巻 「民 俗(仮称)」											○ 本編	
自然編	第6巻 「自然とその変遷」							○ 本編					
通史編	第7巻												○
『写真図録(仮称)』							○						
「市史研究いちかわ」		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	

市川市史のタイトルについて

新しい「市川市史」の特色

- 歴史編・自然編・民俗編の3分野で構成する
- 歴史編は時代別ではなくテーマ別の巻構成とする

タイトル案

- 「市川市史（第1巻）歴史編 地形と環境」
- 「市川市史（第2巻）歴史編 ムラとマチ」
- 「市川市史（第3巻）歴史編 まつりごとの展開」
- 「市川市史（第4巻）歴史編 変貌する市川市域」
- 「市川市史（第5巻）民俗編 ○○○○」
- 「市川市史（第6巻）自然編 自然とその変遷」
- 「市川市史（第7巻）通史編 ○○○○」

〈参考：既刊の市川市史〉

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 「市川市史 第1巻 原始・古代」 | 「市川市史 第5巻 史料 古代・中世」 |
| 「市川市史 第2巻 古代・中世・近世」 | 「市川市史 第6巻 史料 近世 上」 |
| 「市川市史 第3巻 近代」 | 「市川市史 第6巻 史料 近世 下」 |
| 「市川市史 第4巻 現代・文化」 | 「市川市史 第7巻 史料 近代・現代・文化」 |

他自治体史の例

自治体名	編さん期間	タイトル	既刊市史のタイトル
相模原市	平成16～29年度	「相模原市史 文化遺産編」 「相模原市史 現代テーマ編」 「相模原市史 考古編」 「相模原市史 現代通史編」 「相模原市史 民俗編」 「相模原市史 自然編」 「相模原市史 現代資料編」 「相模原市史 現代図録編」	<昭和39年～47年> 「相模原市史」第1巻～第7巻
仙台市	平成6～27年度	「仙台市史 通史編1 原始」～ 「仙台市史 通史編9 現代2」 「仙台市史 資料編1 古代中世」～ 「仙台市史 資料編13 伊達政宗文書4」 「仙台市史 特別編1 自然」～ 「仙台市史 特別編9 地域誌」	<1908年> 「仙台市史」 <1929年> 「仙台市史 第1巻」 <1950～1956年> 「仙臺市史 本篇」、「仙臺市史 別編」 「仙臺市史 資料編」、「仙臺市史 年表・書目・索引篇」 <1969～1970年> 「仙台市史 続編」、「仙台市史 別編」
鹿沼市	平成5～終了	「鹿沼市史 資料編 考古」～ 「鹿沼市史 資料編近現代2」 「鹿沼市史 地理編」 「鹿沼市史 民俗編」 「鹿沼市史 通史編 原始・古代・中世」～ 「鹿沼市史 通史編 近現代」 「普及版 かぬまの歴史」	<昭和43年> 「鹿沼市史」(前・後)